

部分はテキスト可変部分となり、未アウトラインです。

変更箇所のない中面は、すべてアウトラインをかけています。

■胃がん圧着はがき_2年に1度_W297×H152mm(仕上がりW104×H152mm)_外面_四校_180522

表1_96.5mm

P5_104mm

P6_96.5mm

152mm



転送不要

最後に **胃がん検診** を
受けたのは、
何年前ですか？

安心のために、2年に1度は胃がん検診

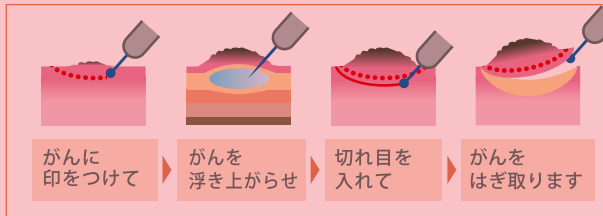
〇〇市 福祉保健部 健康推進課

OPEN

↑2年に1度

胃がんは“なりやすい”がんですが、
“治しやすい”がんでもあります。

胃がんが見つかっても
早期なら、胃を取らずに内視鏡で
がん細胞だけはぎ取れます。



胃がんはわが国では50歳代以降に
罹患する人が多く、がんによる死亡原因の
上位に位置するがんです*。

* 胃は、がんに罹患した人が2番目に多い部位です。(2016年男女計)
出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」
(全国がん登録)

検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を
受けてください。

その場合の精密検査は、「X線検査の精密検査は胃内視鏡検査」
「胃内視鏡検査の精密検査は生検(組織の一部を採取して調べる)
または、胃内視鏡検査の再検査」を行います。

出典:国立がん研究センター がん情報サービス
この圧着はがきは、国立がん研究センター希望の虹プロジェクトが作成しました。

胃がん検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

市ホームページに掲載されている
医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL:000-0000-0000

2. 実施医療機関に直接予約する

3. 受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■ 受診内容 ・問診 ・バリウムによるX線検査

4. 結果*

約2~3週間後に自宅に郵送されます。
検査結果を確認してください。

* 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村
へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に
受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

部分はテキスト可変部分となり、未アウトラインです。

変更箇所のない中面は、すべてアウトラインをかけています。

■胃がん圧着はがき_2年に1度_W297×H152mm(仕上がりW104×H152mm)_中面_五校_180327

表4_96.5mm

P2_104mm

P3_96.5mm

152mm

今年度は、〇〇市より
0,000円の助成* があります。

胃がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

■対象者：〇〇市在住の50歳以上の方

■受診期間：令和〇〇年〇月〇日～
令和〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期限が近付くと大変混みます。お早めにご予約・ご受診ください。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

* 現金が支給されるわけではありません。

お問い合わせ先

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

POSTCARD

胃がん検診には、2つの検査方法があります。^{※1}

下記の特長をよく読んで、あなたに合った検査方法を選んでください。

①バリウムによるX線検査

②胃内視鏡による検査

費用：0,000円

費用：0,000円

- * 検査時間は10分程度
- * 他の検査とまとめて受けられる
- * 飲むバリウムの量はこれだけ



(150~200ml程度)

- * 検査時間は約30分~60分程度
- * 平成29年度より国の指針に追加
- * 経口内視鏡検査

先端にカメラのついた細い柔軟なチューブを口から体内に挿入し、胃内部を観察する検査です。



(経鼻内視鏡検査を選べる場合があります。詳しくは医療機関へお問い合わせください。)

※1 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。

早期に見つければ、95%以上治ります。検診は2年に1度、定期的に受けてください。^{※2}

ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

※2 ここていう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率で、I期(早期がん)で発見された場合の値を示しています。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。出典：全がん協加盟施設における5年生存率(2009~2011年診断例)

↑2年に一度

OPEN



転送不要

最後に **胃がん検診** を
受けたのは、
何年前ですか？

安心のために、毎年 **胃がん検診**

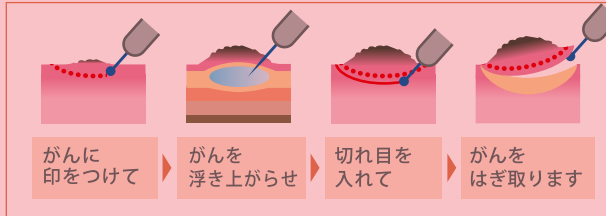
〇〇市 福祉保健部 健康推進課

OPEN

↑ 毎年

**胃がんは“なりやすい”がんですが、
“治しやすい”がんでもあります。**

胃がんが見つかっても
早期なら、胃を取らずに内視鏡で
がん細胞だけはぎ取れます。



胃がんはわが国では50歳代以降に
罹患する人が多く、がんによる死亡原因の
上位に位置するがんです*。

* 胃は、がん罹患した人が2番目に多い部位です。(2016年男女計)
出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」
(全国がん登録)

検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を
受けてください。

その場合の精密検査は、「X線検査の精密検査は胃内視鏡検査」
「胃内視鏡検査の精密検査は生検(組織の一部を採取して調べる)
または、胃内視鏡検査の再検査」を行います。

出典:国立がん研究センター がん情報サービス
この圧着はがきは、国立がん研究センター希望の虹プロジェクトが作成しました。

胃がん検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

市ホームページに掲載されている
医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL:000-0000-0000

2. 実施医療機関に直接予約する

3. 受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■ 受診内容 ・問診 ・バリウムによるX線検査

4. 結果*

約2~3週間後に自宅に郵送されます。

検査結果を確認してください。

* 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村
へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に
受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

部分はテキスト可変部分となり、未アウトラインです。

変更箇所のない中面は、すべてアウトラインをかけています。

■胃がん圧着はがき_毎年_W297×H152mm(仕上がりW104×H152mm)_中面_180327

表4_96.5mm

P2_104mm

P3_96.5mm

152mm

今年度は、〇〇市より
0,000円の助成* があります。

胃がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

■対象者：〇〇市在住の50歳以上の方

■受診期間：令和〇〇年〇月〇日～
令和〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期限が近付くと大変混みます。お早めにご予約・ご受診ください。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

* 現金が支給されるわけではありません。

お問い合わせ先

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

POSTCARD

胃がん検診には、2つの検査方法があります。^{※1}

下記の特長をよく読んで、あなたに合った検査方法を選んでください。

①バリウムによるX線検査

②胃内視鏡による検査

費用：0,000円

費用：0,000円

- * 検査時間は10分程度
- * 他の検査とまとめて受けられる
- * 飲むバリウムの量はこれだけ



(150~200ml程度)

- * 検査時間は約30分~60分程度
- * 平成29年度より国の指針に追加
- * 経口内視鏡検査

先端にカメラのついた
細い柔軟なチューブを口
から体内に挿入し、胃内部
を観察する検査です。



(経鼻内視鏡検査を選べる場合があります。)

詳しくは医療機関へお問い合わせください。)

※1 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。

早期に見つければ、95%以上治ります。検診は毎年、定期的に受けてください。^{※2}

ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

※2 ここていう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率で、I期(早期がん)で発見された場合の値を示しています。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。 出典：全がん協加盟施設における5年生存率(2009~2011年診断例)

↑ 毎年

OPEN